

これまでに「網羅的遺伝子解析を用いた上部消化管腫瘍の病態解明と診断治療法の開発」へ同意頂いた患者さんへ

【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 食道・胃外科科では「食道扁平上皮癌における好酸球の腫瘍抑制効果に関する手術切除標本を用いた検討」という研究を行っております。好酸球は白血球の一種で、従来はアレルギーなどに関与することが知られていましたが、最近では腫瘍細胞にも作用する可能性があると考えられ、この研究は、食道扁平上皮癌の発癌過程での好酸球の関わりを調べることを主な目的としています。そのため、過去に食道癌の治療を受けた患者さんの検体、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、食道癌の方で、西暦 2015 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 12 月 31 日の間に食道・胃外科で食道癌手術を受けた方です。

- ・利用させていただく検体は下記です。

病理組織検体（内視鏡、手術）

- ・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

期間：西暦 2015 年 1 月 1 日～西暦 2020 年 12 月 31 日

この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 倫理委員会承認日 ～ 西暦 2026 年 12 月 31 日まで
- ・研究責任者 峯 真司

過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、食道・胃外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

上記の検体・診療情報等を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。

その際には個人情報には匿名化した上で、暗号化されたファイルとして送信および試料の

郵送を行います。

[主な提供方法] 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他
・米国ヴァンダービルト大学 (研究責任者 Yash Amit Choksi)

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 食道・胃外科

電話：03-3813-3111 (内線) 3333

研究担当者：那須 元美